



港南中便り

第18号

学校公式ホームページ <https://konan-j.esnet.ed.jp/>

令和元年の有終の美

—今年も多くの生徒が活躍しました—

< 卓球部 >

○西条いしづちオープン卓球大会

- 男子団体中学・小学生の部 **準優勝**
- 女子団体中学・小学生の部 **第3位**
- 女子個人高校の部 **優勝** 1年 Y
- 男子個人中学・小学生の部 **第3位** 1年 Y
- 女子個人中学・小学生の部 **優勝** 1年 M

○松山地区中学生強化卓球大会

- 選抜中2女子シングルス **第1位** 1年 M
- 中学2年女子シングルス **第5位** 2年 T

○愛媛県団体卓球選手権大会 女子団体 **第3位** → 四国卓球大会出場へ

- 中学生オープン大洲卓球大会 中学2年女子シングルス **第1位** 1年 M
- 中学2年男子シングルス **第1位** 1年 Y



< ソフトテニス部 男子 >

- 松山・中予地区秋季ソフトテニス大会 **1部第3位** 2年 I・2年 W
- 2部準優勝** 2年 S・2年 N

< 文化活動 >

- 読書感想画コンクール **最優秀** 1年 M
- 優秀** 1年 T、1年 O、1年 W、1年 S、1年 O、
1年 H、1年 K、1年 T、1年 K、1年 N、
1年 W、1年 N

○JA共済全国小中学生交通安全ポスターコンクール愛媛県審査会 **佳作** 2年 N

○JA共済全国小中学生交通安全書道コンクール愛媛県審査会

- 条幅の部 **佳作** 3年 T
- 半紙の部 **佳作** 3年 H
- 入選** 3年 T、1年 N、1年 A

○いよし市民総合文化祭こども美術展 中学生図画の部

IYO夢みらい館賞 3年 T

伊予市文化協会賞

2年 S

1年 N

書写の部 伊予市長賞 3年 T

伊予市教育長賞

3年 H

伊予市文化協会賞 3年 N

IYO夢みらい館賞

1年 M

人材 = 人間 × 教育 (学問としつけ)

— 北野 大 教授のお話より —

北野 大教授のお話を聴く機会を得ました。- 淑徳大学人文学部 -、御存知の方も多いと思いますが、北野先生は、ビートたけし(北野 武)さんの実兄です。そのお話の中で、子どもを育てていく立場として、心に残った内容がありました。それは、北野先生が、「明治維新後の日本が、約260年余りの鎖国後に、技術大国になれたわけは？」という問いに対して、その回答として、「日本の教育の質の高さ」をあげられ、日本の教育が世界で通用する「人材」を育成してきたからだとお話されたことです。

そして、人材は、人間 × 教育 (学問としつけ) で育てていくものであり、

① 家庭教育→しつけ ② 学校教育→学問と団体行動 ③ 地域教育→社会のルール

の三つを社会全体で教育していくとともに、①、②、③が一つの方針のもとに統合されることが重要だと力説されていました。

技術が伴ってはじめて資源たり得る。

日本書紀を読むと、石油が、「くそう水」として登場します。私たちの先人は、奈良時代から石油の存在を知っていました。しかし、石油を利用する技術を持たなかった時代においては、現代では欠かすことのできない地下資源も単なる「臭い水」だったのです。私たちの日本は、江戸時代から藩校や寺子屋に見られるように教育に熱心な国です。そのことが、技術立国の日本を支えてきたのです。



< 令和元年 創立60周年 >

次の世代へ！

明治維新の戊辰戦争で焼け野原となり、窮乏を極めた長岡藩。明治3年、支藩から百俵の米が贈られました。多くの藩士は、飢えをしのぐために使おうと考えました。

しかし、大参事の小林虎三郎は、学校設立の資金に充てることを決断しました。



「分ければ数日間で使い切ってしまうが、人づくりに使えば、将来、何万俵にもなって戻ってくる！！」と。

< 伊予市の学校 港南中 >

令和の始まりの今年、保護者や地域の皆様のお力添えで、創立60周年記念行事を盛大に実施することができました。その記念イベントやバザーで、生徒たちは、楽しい一日を過ごし、港南中への「愛着と誇り」を育めたようです。ここに謹んで御礼を申し上げます。来る令和2年も皆様の御理解と御協力を賜り、より良い港南中の教育を推進していく決意です。

どうか良いお年をお迎えください。

校長 上岡 孝